**平成２８年度　第１回 大阪府南河内保健医療協議会概要**

日時：平成２８年６月６日（月）１４:００～１５:１０

場所：大阪府南河内府民センタービル３階　講堂

**■議題　「地域医療構想の実現に向けた取組みについて**

**（資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明）**

（資料１－１）大阪府地域保健医療推進懇話会設置要綱

（資料１－２）南河内圏域保健医療計画関連会議　体系図

（資料１－３）新規懇話会の委員構成について

（資料１－４）平成２８年度南河内病床機能懇話会・南河内在宅医療懇話会の委員

　　　　　　　名簿（案）

（資料１－５）在宅医療懇話会の検討体制について

（資料１－６）在宅医療の充実に向けたテーマ（地域医療構想より一部抜粋）

（資料２－１）平成２６・２７年度病床機能報告　機能別報告状況

（資料２－２）平成２６年度南河内圏域内の病床機能報告結果

（資料３－１）地域医療介護総合確保基金とは

（資料３－２）地域医療介護総合確保基金事業一覧（平成２８年度案・平成２７年

　　　　　　　度）

（資料３－３）平成２８年度南河内圏域会議スケジュール

（資　料　４）「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備事業」の拡充に

　　　　　　　ついて

**（主な意見等）**

　①在宅医療に関する課題について

　　○在宅医療を24時間体制で行うのは難しい。各医療組織においてチームを組んで

お互い補完できる形（多職種連携）が課題である。また、難病や認知症の重症の

方など専門性があるへ方の在宅医療体制を検討する必要がある。

　　○認知症の患者は神経内科医や精神科医が診ているが、その患者に身体疾患があ

ると何人も主治医がいるのが実情である。本来はチーム医療ですべきであるが、

が、今の診療報酬体系はそうなっていない。病院でも他科受診の報酬が課題であ

る。この部分を改善しない限り、在宅のチーム医療は不可能だと考えている。個々

の医者の努力だけでやっているところがあり、無理があるため継続できない。

　　○認知症の課題や病床機能との関係など、在宅医療懇話会でのテーマを事務局で整

理をお願いしたい。

＜府対応＞

　　　　在宅医療懇話会委員に検討すべき課題等のアンケートを懇話会前にさせてい

ただくので、懇話会で意見交換したいと考えている。集約できたものから９月

末の協議会で報告をさせていただく。

　　②病床機能に関する課題について

○南河内圏域の特殊性、今後考える大きな変化として、近大病院の移転がある。こ

の地域医療構想は平成37年に向けてとなっているが、近大の移転計画がその２年

前の平成35年となっており、最後のゴール数年前で劇的にデータが変わってくる

可能性が高いと考えている。また、未報告の病床数が前回5000ほどあった。今回

も4000ほど出てくるが、大阪としてどのくらい影響があると考えているのか。

＜府回答＞

　影響がないとは言えないと考えている。医療機関でデータ入力していても、国

の報告に反映されていないというケースがあると聞いている。

　また、大規模病院だけでなく、中規模病院においても、「急性期」か「慢性期」

かで迷っておられる医療機関もあり、先日開催した病院説明会において考え

方をお伝えしたが、まだまだ悩まれていると思われるので、今後も医療機関

の話を聞きながら詰めていきたいと考えている。

　病床機能懇話会委員に検討すべき課題等のアンケートを事前にさせていただ

き、懇話会で意見交換したいと考えている。９月末の協議会で報告をさせてい

ただく。

③病床転換補助金の拡充について

○結局「急性期」を「回復期」へ誘導しているように見える。

**（質疑応答）**

　　○特になし